

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	32	18	<p>遊ぶスペース、活動するスペース、給食のスペースをそれぞれ場に合った広さが必要            少人数で療育を行なっています。            療育時はいいのですがおひさまや学習支援が重なった時に空きスペースがない事があります。何らかの対策があればいいと思います。            指導室以外のフリースペースが必要            面談室やクールダウンスペースといったフリースペースが確保されると良い            事故や怪我のないよう環境設定をする            同じクラスの中で2グループに分けて活動            市から施設型は施設内で委託事業を行うようにとされているが、広さがそこまで取れない中で活動を行うことに限界を感じている。グループ同士で声を掛けあいながら部屋を利用できるようにしているが、どうしても把握と管理の仕方の捉え方が人によって様々なことがある。部屋の管理ファイルはあるが、それぞれの周知が曖昧のように感じる。            もう少し 部屋数に余裕があるといいと思う            学園に就職してから1年経ちますが、療育以外にどのような機関があり活動しているか正確な知識がありません。そのような状態で"はい""いいえ"や改善点などを回答するのは責任が持てないので今回は無回答とさせていただきます。申し訳ございません。            分かりません。            80人が同じ時間に利用するには足りない            部屋数が少ないので増やしていただけると嬉しいです。            狭い中で子どもが走ってしまうことでの事故に気をつけています            そうされていると思っている            教室を、共有出来るよう片付けている。            子どもの動きによって、個々で部屋を移動したり、環境設定を変えたりしている            1グループにつき、フリーで使える部屋が1室ずつあると良い。昔はももがぞう、きりがきりん、みどりがばんだで、困ることなくいつでも使えた。現在は前日に体制ボードにて時間ごとに使うグループを記載し、かぶらないように調整をしている。            施設開放や他事業と調整、周知方法を改善できるとよい。            規定としては適切であるが、らいおんの部屋に対する園児数、2歳児から年長までの対格差によるスペースの関係は難しさがあると感じる。            面談室、相談室などの保護者の方との相談、面談用の専用の部屋がない。言語の訓練などの専用の部屋がない。            制度的には満たしていると思うが、もう少し広く使える方が子どもたちも安全に楽しく遊べると思う。            部屋数が少ないが、入れ替わりで被らないように使用している点は工夫していると感じます。            時間を調整しながら使用している。            北棟は部屋が特に狭く、動きの多いお子さんがいたり、肢体不自由のお子さんが床を移動したりしている中で8~10人+職員が3人程度いるとトラブルやケガも起こりやすく、狭いと感じる。活動に合わせて机の配置や環境を整えたり、場所を変えるなどしてカバーしている。            棚やマットであそびの空間を仕切っている。            事業数に対して、部屋数があっていないと感じます。            親子で来てもらう教室なので、ぞうの広い部屋が使えると良いと思います。こあらの部屋になった事で定員を減らしていますが市からの指定人数を考えるともう少し広い部屋だと良いと思います。また、活動での動線なので悩むこともあります。            北棟は人数に対して狭いため、物の配置等で圧迫感が軽減できるようにしている。            子ども達が使用出来る部屋が不足している。            もともと療育のための部屋でないところも活用しているため、改善が必要と考える。            できるだけ物を置かない。</p>

環境・体制	2 職員数の配置が適切であるか	35 15	<p>1対1でつく必要がある児童が多いため場合によっては療育に不適な対応となってしまう  年度初めに、新任の職員を1カウントとして配置されたが、児も職員も新しい環境になるなかで、とても苦しく思う事があった。</p> <p>療育外業務が多い。就業内では終わらない。紙媒体業務が減ると良い。  様々な活動を計画し、環境を整えています。</p> <p>6人揃ってれば療育には不自由ないと思います。しかし、職員の6人中3人がフルタイムではない為、正規の先生方は療育以外の義務の負担が大きいと思います。フルタイムの職員が1人いると違うと思います。  個別支援計画の作成必要数を基準としたときに児童発達支援管理責任者が足りない。</p> <p>人数が多い時は他グループの応援にまわしている  不足している時間に動ける職員が応援に入る  親子グループの配置は適当である。毎日通園などは足りてない時や職員のキャパオーバーな時もあるのではないかと感じている。  分かりません。  他害が多い部屋等の職員は手厚く配置しているが、トラブルが起きた際など3人では足りないと感じることもある  わからない  バス添乗専従職員があるほうがよい。  人数は適切だが1人の子に職員1人が関わる時などに一時的に足りなくなる時がある。  フリーで療育を補助できる職員が必要。  個々の様子、クラスの人数に応じて、職員の配置を適宜変えている  ケースを持てる正規職員を増やしたい。  適切だと思います。グループ関係なく応援に入ることができるため、適切な人数を確保できると思います。  す。  体調を崩したり、ケガをして通院しなければならなくなった時など、職員が足りないように思う時もある。  体制的には適切だと思うが、現場は人手不足を感じると思う。  正規を増やしていきたい。ケースなど事務のできる非常勤とフルで働ける職員が欲しい  療育という、保育とは違う特別な環境である場所なのに、子どもの特性などよく分かっていない慣れない職員が補助に入るなど、子どもの為にはならないことが日常的にあることは課題だと感じます。職員数を増やすべき。  人数的には大丈夫だが、仕事量、内容に偏りがある。  正規職員の1人あたりの業務量が多すぎる。採用、新人育成に力を入れて実際に現場で活躍できる人を増やしていくべきだと思う。  常に同じ部屋になりすぎないように、2週ごとに部屋を変える等の工夫をしている。  基準人数は保たれているかもしれませんが、人事配置等工夫が必要だと感じます。  分離活動などで子どもの様子などによっては補助が欲しいなと思う事もあります。  4対1を守っているが、丁寧に関わるには余裕をもつての人員配置が必要。  リーダー、あそぶ専門、片付けと、大まかな役割分担があるため行動しやすい。</p>

<p>明 整 備</p>	<p>生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか</p>	<p>25</p>	<p>24</p>	<p>トイレ、通路、遊具など障害児に合わせたものができるといい          トイレが少ない、狭い、車椅子で入れない          扉に手が挟まれる危険箇所があります。          トイレのバリアフリー化が不十分であると感じる          キリンを使っている時に北棟から南棟に移動の時に外を回らないと行けない。雨の日など不便である          教室から外へ出る時、段差があるので身体障害がある児にとって生活しづらい。          玄関のバリアフリーが必要          プレイグラウンドの段差や土管が剥き出しになっていることなど、業者が入る予定と聞いてはいるがどのような結果になっているのかがいまいわからない。親子グループでは、土管の出入口にタオルを巻くなどし、利用者が怪我をしないように工夫している。          気になる段差などがある          トイレなど段差がある箇所もある          登ってしまうことがある棚が必要な時以外は部屋の外に片付けている          バリアフリーが不十分。特に年少の使うグラウンドは地面の凹凸が多い。          わからない          トイレが狭くて使いにくい。スリッパを使わなくても良いトイレにリフォームしてほしい。          トイレなど、古い設備で怖がる子どももいるため、明るく声掛けするようにしています          段差が多かったり、難点が多々あると感じます。          和室は膝が悪い職員や利用者には配慮がない          常に車イスが必要な子がいたらバリアフリーは完全ではないと思います。          職員間で気付いた事は、工夫し、改善している。          言葉だけでは伝わりづらいので、写真や絵を使い目で見てわかるよう          部屋内で導線をつくり、子どもにとって分かりやすくしている。しかし、段差が多いため、安全な環境になると良い。          生活動線をわかりやすく作ったりできている。絵カードなど視覚支援を使ったり、 unnecessaryなものは部屋には置かないなど、子どもたちにわかりやすくできてると思う。ただ、廊下に棚を置いてしまったり、棚に入りきらないものを置いてしまってる為、きをつけていきたい。          自己選択ができる環境設定を各グループが工夫している。バリアフリーについては車いすのお子さんを考えると段差など走行に難しさがある。          子ども用の玄関は、段差があり、バリアフリーされていないと感じる。          もっと工夫できそうな点はありそうだと思う。          分かりやすい、過ごしやすい所もあるが、まだ手を入れていく必要性はある。          今ある限られた空間ではできる限りはやっているのでは無いかと思います。          教室内の環境は考えられている。          車いすや歩行器のお子さんがいたとしたら、ガタガタ道や狭い通路が多く移動しにくいと思う。          絵カードを使用するなど、わかりやすくしている。          トイレなどは暗かったり入口が狭いなど、怖さに繋がっているように思います。キャラクターなど子どもの好きな物を取り入れて入りやすくしたりカーテンなどをつけたりして配慮しています。          朝の支度の流れに合わせて机等の配置をしている。          文字や数字はまだ難しいため、実物の写真や色を貼っている。</p>
----------------------	---	-----------	-----------	--

4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	31	<p>22</p> <p>老朽化もあり、清潔とは言えない。安全性にも欠ける。  心地よく過ごせる環境にする努力はしているが、施設の老朽化やグラウンド、中庭の環境については危険を感じる箇所が多々ある。  部屋数少ない。雨の日の過ごせる場所少ない。  トイレに窓がなく、暗い場所があります。  ねずみや害虫が出る  運動療育の部屋を他の用途で使用する度に片づけが必要か  環境整備など、工夫はされているが拾ってきた果実など子どもに見せる為に用意したとはいえ、その後の放置などが多くカビている時などがある。また用意した人が最終的に片付けるということができないところが気になる。  限られた中で 色々工夫されてると思う  建物は古いが掃除は毎日されているのできれいだと思う  あそび環境の視点で見直しが行われています  活動の様子を見ることはないが、清潔を保つためによく掃除されていると思う  老朽化が著しいので、施設全体のリニューアルを望みます。子どもが安心して生活できる環境を施設面からも保障してほしいです。  トイレが暗い  建物が老朽化している為、工夫では補えない部分がある。  療育後の振り返りで、子どもたちの様子に応じて日々環境整備の見直しを行っている  毎日の掃除、始業点検をしっかりと行っている。  始業点検で気をつけているが、部屋の中に蟻がいたり、水道が汚れたままにしてしまう時がある。部屋の準備を余裕を持ってして、清潔に気をつけていきたい。  始業点検や清掃で安全と清潔が保たれている。  トイレの臭いは何とかしたい 環境作りをしているが、その環境を作りにくい部屋になっていると思う。幼児にあった生活空間は、更に見直しが必要  古くて汚いものもあるが、掃除をしたり現状で出来ることはやっているのではないのでしょうか。もっと綺麗で整った空間である方が親の目線だと嬉しいとは思いますが現状の建物、空間では難しいのではないかと。  水回り、トイレ、窓の汚れが気になる。  毎日の清掃作業  毎朝掃除をしている。  毎日清掃をし、清潔さを保つよう努めています。  掃除などは手分けして行っています。老朽による古さや怖さはあるように思います。室内の音が響きやすく泣き声などの反響は気になります。  人数に対してのトイレの数が少ない。  掃除、換気、湿度、冷暖房器具の使用を常に気に掛けている</p>
---	--	----	--

	<p>5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか</p>	<p>36</p>	<p>11</p> <p>よくわからない 毎日、徹底しています。 手順としてはあると言えるが、十分に機能しているとは言い難い。 PDCAサイクルを初めて聞いた。 正規と非正規で差があると感じる。埋めるための努力や工夫をしていきたい。 振り返りの時間が足りないので、前回の教訓が生かされないまま次の行事に入ってしまうことがあります。 会議などで提案されている。 全体での振り返りに参加出来ない時があるので、気付いたことはその都度報告している グループに職員が多いため、全員が集まるのが難しいが、日誌等に大切なことは記入し、全員が同じ方向性でいけるようにしている。 一部にとどまっている。広く参画できる仕組みを構築中 具体的にはわかりません。 どれだけの職員が意識して支援できているか。出来ている職員そうでない職員がいる。私たちももっと意識して伝えるべきだと思っている よくわかりません。日々の業務についてはみんな参加して意見交換をしているように見えます。 日々の療育や行事ではねらいを大切に計画している。毎日振り返りをし、改善点に対応している。対応しきれていない部分は多くある。 朝の打ち合わせ、療育後の振り返りは職員同士で各クラスの様子について話している。 広くまでではないが、日々の振り返り等はしていることが多い。 日々の活動での全体での課題や改善点はみんなで出し合いできる所で実践しています。 自分の業務でそこまでの余裕がない。 朝の打ち合わせの時間にリーダーを中心に話しているが、時間が足りない時もある。</p>
<p>業務改善</p>	<p>6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか</p>	<p>43</p>	<p>3</p> <p>今年度、親の会や育成会の仕事についての負担感が保護者よりあがった。負担になり過ぎる事は、改善が必要と考える 苦情も、職員間で必ず共通認識し、改善しています。 思いは職員によって共有されていると思います。 生活記録等で家庭での生活や学園での生活について情報共有を定期的に行っている。 毎日通園では行えるように意識していると思う。 保護者との関係は良好で、意向や変化等細かく拾い上げている職員が多い。 アンケート結果を皆で共有している。 特にありません 面談の他、電話や送迎時等で保護者の話をよく聞くようにし、改善すべきことは早急に動いている。 できるところは改善されている。 市と関係している部分は改善がなかなか進まない。市に利用者の声をいかに届けるか、どのように市としては受け止めているのか確認したい よく分かりません。 アンケートをもとに協議を行なっている。 評価表がないので実際の保護者の反応は分かりませんが、保護者への声掛け等を行い全部ではないですが、不安などを聞くことは出来ているように思います。 昨年度末「遠足や運動会がやりたかった」とのご意見をいただいたので、3月のスキップを園バスに乗る買い物散歩に変更した。</p>

7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	40	4	<p>内容の充実が必要だと思います。</p> <p>自己評価を行い、業務改善に努めていく。</p> <p>よくわかりません</p> <p>ホームページを利用している。</p> <p>特にありません</p> <p>毎年行っている。</p> <p>全体懇談会</p> <p>できていません。親子教室としてどこまでやらなくてはいけないのかも分かっていないです。</p> <p>紙ベースでいただくので、ホームページ等まではチェックしていません。</p>
8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	35	10	<p>よくわからない</p> <p>努力はしていると思います。</p> <p>指摘されたことは、意識して業務改善に努めていく。</p> <p>第三者委員などを設けて話し合いの場をもっていることは知っているが、実際にどこまでその中で出たことが現場で活かされているのかはわからない。</p> <p>特にありません</p> <p>毎年行っている。しかし、改善できることにも限度があり、全てできているとは思えない。</p> <p>具体的には分かりません。</p> <p>第三者については検討が必要</p> <p>業務改善のために、新たな仕組みが必要であると考えます。</p> <p>仕組みそのものが分かっていないのもう一度教えてもらえるとたすかります</p> <p>第三者委員会を設けている。</p> <p>ロッカーが死角になってしまっているため、ロッカーの配置換えをグループで検討中。</p>
9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	52	1	<p>研修報告書の様式を変えてはどうか。</p> <p>特に学園独自の研修については内容の見直しがあると良いと思います。</p> <p>職員から学びたい事を募り実際に研修に繋げてくださっている</p> <p>定期的に外部講師の研修が行われる。</p> <p>療育についてや感染症対策についての研修を行っている</p> <p>研修自体は多く行われていると思うが、自分自身は職場研修をつめていない。</p> <p>研修に参加できなかった人に紙面でわかるようにしてあるとよいと思う</p> <p>わかりません</p> <p>研修は有意義に感じています。ただ、行事などの準備で忙しい時に組み込まれていることがあるので、研修の時期は慎重に検討してほしいです。特に外部の人を招く研修のタイミングが、行事の忙しい時期とかぶりがちな気がします。外部の人のスケジュールも大事ですが、まずは学園のスケジュールを優先してほしいです。</p> <p>特にありません</p> <p>研修は多いが、参加者が決まってきたと感じる。</p> <p>アートの研修や心理士さんの研修など、業務時間内に研修の機会がある為、参加しやすく勉強になる。</p> <p>研修がある日の休憩時間が取れるように、業務時間の見直しが必要である</p> <p>参加したい研修に参加することができています。</p> <p>事務仕事と研修のバランスを考えて行かないといけないと思っている</p> <p>研修は多いと思います。</p> <p>月に1~3回程度の研修の実施</p> <p>様々な研修を通して、療育に更なる工夫をしている。</p> <p>時間等の工夫は必要だと思います。</p> <p>参加できたものもありますが回数は少ないです。本を読んだりなどはできる範囲で行っています。</p> <p>外部研修、内部研修ともに参加する機会がある。</p> <p>私は参加できていないが、事業所は参加の機会を作ってくれていると思う。</p>

10	<p>アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか</p>	41	5	<p>よくわからない  そのつもりがあるのは確かですが、内容はかなり課題があると思います。日々の療育や家庭での生活について保護者と情報共有を行っている。  個人の意見だけにならないよう、グループで相談しながら取り組んでいる。  丁寧に見立てをし作成されていると思う  面談だけでなく生活記録や送迎の際に家庭での様子等を聞き取っている  支援計画のチェックが二重三重になっていることがあり、修正が多すぎて疲弊します。チェックは一回で良いのでは？と感じる時があります。あと、人によってチェックの基準が違いすぎて、昨年のやり方がまるで通用せずから振り出し、みたいなことがありました。これは正直勤務意欲の減退につながるので、もう少し何とかならないでしょうか？  同じグループ内で報告会を開いている。  特にありません  時間がかかり、多くの職員が頭を抱える仕事のため、簡略化できる部分はしたい。  日々の子どもの様子、保護者との面談で分析できてると思う。リーダーさんなどに相談しながら作成できている。  グループ会議や日々の振り返り、おひさま報告会等ケース会議を行っているが、話し合いが必要なケースも多いのではないかと。  具体的なことは分かりません。  様式の見直しは必要  一人ひとりの子どものことを、グループ職員全員で様々な視点から捉えている。  支援計画の作成は行っていませんが、日々の活動での課題に対しての対応は親子教室の職員で話し合っています  送迎時、行事、面談などで保護者の思いを聞き取ることが大事にしている。  作成者は「どういった支援をしたら良いか」を常に考えてくれていて、伝えてくれている。また、相談されることもある。</p>
11	<p>子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか</p>	33	11	<p>よくわからない  適応行動？  アセスメントツールを適切に使用できるよう事前に職員間で注意点を話し合う。  標準化されたものは使用していない。  特にありません  グループによりばらつきがある。  毎日通は行っているが、併行通はツールを用いた評価はしていない。  個人的にはアセスメントツールをよく知らないで事務の職員でも周知できていくといいです。  太田やキッズ 遠城寺は使っているが、市のアセスメントツールを使ってチェックしてみるのには良いが、自分たち独自のものも必要と考えているそれだけでは足りないと感じている。  タイムタイマーを使用して、視覚的に、聴覚的に伝えるなどしている。  標準化したアセスメントツールが分かりません  やっていないわけではないが、もっと力を入れて取り組んでいきたい。  太田ステージを定期的の実施し、その様子を伝えてくれる。</p>
12	<p>児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか</p>	38	6	<p>よくわからない  足りないところがあるように感じています。  支援内容を上司と相談して適切な支援を行えるようにしていく。  支援を受ける側が今どんなことを家庭、地域等で必要としているのかは常に、意識をしている。  計画の段階から取り入れること、選択できる方法を提案していくことが必要。  他の機関と、連絡をとっている。  特にありません  具体的なことは分かりません。  様式について現在見直し中。  ガイドラインそのものをちゃんと分かってないです  コロナ禍であったということもあり、地域との関わりは少ないように感じる。  対象児を見ている職員の視点も聞き取ってくれている。</p>

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	45	2	<p>打ち合わせや振り返りの中で職員同士で確認し合っているより個別化していくべきだと思います。</p> <p>職員間で課題点などを話し合う。</p> <p>グループ間で、支援方法などは意見を交わしながらアプローチは行っている。</p> <p>わかりません</p> <p>個別に支援されていると思う</p> <p>関わる子どもの人数が多すぎて、療育内容では個々の支援計画を網羅出来ないと感じることがあります。ジレンマが大きいです。</p> <p>毎日、個々の記録をとっている。</p> <p>特にありません</p> <p>担任以外の先生にも課題が共有されていていいと思う。</p> <p>定期的に面談を行い、計画の見直しをしている。</p> <p>支援計画そのものがないですが、課題に対してはアプローチ方法を職員で共有して実践しています</p> <p>対象児が興味を持ちそうな事柄でアプローチするようにしている。</p>
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	43	3	<p>迷った際にはグループ間で話し合い、個々が楽しみをもち楽しめるように考えている</p> <p>様々なプログラムを計画しています。</p> <p>職員間で児の特性について情報共有する。</p> <p>ベースはあるものの、実際にやってみただ中でそれぞれ感じたことがあれば次回に反映させたり、その場で声をかけ合いながら案を出し合いながら進めている。</p> <p>グループ会議が少ないです。開催を求めていますですが上司がまえむきではありません。なぜでしょうか？</p> <p>リーダーに相談している。</p> <p>特にありません</p> <p>自分で立てた案を他の職員に意見を聞き、取り入れるようにしている。</p> <p>具体的なことは分かりません。</p> <p>よく分かりません。</p> <p>プログラムの担当を分担し、相談しながら立てる</p> <p>担当を決め、グループ全員がプログラムの作成をしている。</p> <p>今は個々になっている部分が多いが、共有できるように、紙面に詳しく記すことを意識しています。</p> <p>どうしたら楽しめるのか、なども話し合えてると思います</p> <p>悩んでいるところ等はチームで相談し考えている。</p> <p>今の子どもたちの課題、それにあった活動を日々話し合っている。</p> <p>ベースはリーダーの考えだが、相談を受けたり、朝の打ち合わせでその日に適した活動になるよう話し合っている。</p>
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	44	2	<p>色々な活動を取り入れています。</p> <p>季節に沿って様々なプログラムを設定する。</p> <p>一年の振り返りを行い、各々やってみた感想や次回に期待したいことなどの意見交換を行なっている。また職員だけの意見だけでなく保護者の感想等もシェアしあいながらプログラムの見直しを行なっている。また当初組んだ予定も、利用者のニーズに合わせて案を変えることもある。</p> <p>わかりません</p> <p>季節や子どもの様子に合わせた活動プログラムを立案している</p> <p>活動が、1ヶ月の中で動、静、バランスよく振り分けられるように意識しています。</p> <p>年間を通して、毎年同じプログラムになりやすいが、毎年経験があるため、危険予測などしやすく安全な教室運営が出来るメリットがある。時代に合わせて必要な体験も変わっていくので、少しずつ取り入れられたいと思う。</p> <p>季節感を取り入れている。</p> <p>特にありません</p> <p>職員同士で次は何をやるか、話し合っていて決めている。</p> <p>外部にでて、新しいアイデアがもらえるといいです。</p> <p>季節の事柄やお子さんの好きなことを取り入れ興味関心を刺激できるよう心がけている。</p> <p>その時の行事や時期に合わせて内容を決めている。</p> <p>子どもたちがより楽しめる、経験できるような活動内容を考えるようにしている。</p> <p>ねらいなども決めて取り組めるように工夫しています。</p> <p>子供たちの成長や季節に合わせている。</p>



16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成しているか	37	7 よくわからない 児の特性に合わせて活動を考える。 親子で参加の場、母子分離の場、それぞれ活動内容などを変える工夫も行っている。 クラスの枠を越えて、活動内容に応じて子供の状況に合った方法を考えている 何を目的に行うかを明確にし、そのために個別で行うか、集団なのかを決めている。 個別活動がどこまでできているのかは分かりませんが、個別にかかわっている様子が見られます。 個別活動の充実が必要 個々に合わせた支援を考え、保護者への説明、一緒に考え、行っている。
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	49	2 人数が少なく、その日の活動によっては十分に打ち合わせできないこともある。 職員が少ない時などに全員バスに乗る時があった 打ち合わせで確認している。 その日に担当する親子や業務は活動前に必ず確認をする。担当の役割を果たせない時には、他の職員に相談し交代をするなど必ず声を掛け合っている。 わかりません 毎朝打ち合わせをされている グループ内におけるバスの添乗割合が高いため、打ち合わせが満足にできないことが多いです。 出勤時間が違って、必ずデイリーに目を通し、わからない事は必ず確認する 朝の貴重な時間のため、15分以内の短時間で言うように、自分の意見を言ったり、後輩職員の意見を聞いている。 毎日打ち合わせを行なっているが、勤務時間の関係によりグループ職員全員での打ち合わせはできてない。 その為、日々のデイリーに文字でもわかりやすく記す必要があると感じた。 ヘルプで入るときも共有してもらおうようにしたい。 朝や夕方に打ち合わせをして確認しているように見えます。 全員が集まってから打ち合わせをしている。 なるべくできるように工夫しています 時間が足りなくなることがある。
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	49	3 人数が少ないのと、BSの退勤時間が早くみんなで振り返ることが出来ないことが多い 気づいたことを話し合っている。 その日に知り得た情報は、グループ間で共有と記録におとすことを皆が行っている。また、その場で解決できない話などはグループで方向性を話し合い、次回に活かせるようにしている。 バス添乗のため、グループリーダーが不在の日が、月に4日以上あります。また、それ以上に、メンバーは添乗します。バス添乗専用のパートを使って、コースを固定して、一ヶ月ほどは園生活にも入っていただき、子どもたちのことを知った上で、添乗していただくことで、通園部門の計画や振り返りを充実させて、療育内容を改善する基盤ができるのかと思います。 わかりません 振り返り、情報の共有はしっかり行えていると思う。 振り返りに参加できない時は、事前にクラスの職員に伝えておく 日によっては時間が足りない、休憩時間まで持ち越す・・・まだまだ課題だと感じる。 子どもの表れなどを共有できている。 できていると思う。 共有のために休憩が取れていないことが問題 出来ることはやってみよう 子どもの小さな変化も共有する。 子どもの様子、親御さんの困り感など話をきけるように配慮しています。 療育終了と共に帰る職員もいるため、その日に全員で振り返ることは難しいが、翌日などに振り返りを行っている。 療育終了後すぐに退勤する職員もいるため、朝の打ち合わせ時に、前日に気になった点などを話すようにしている。

19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	51	1	療育の中で気づいたことを記録していく。 1人の人ばかりが同じ人の記録を記入するのではなく、利用者に対しそれぞれが見立てや支援方法を意識できるようにしている。 わからない この点は上司からよく指導され、この一年で特に意識するようになりました。 少しでも気になる事があれば必ず報告し、関わり方の改善につなげている 気になることは記録に残し、誰かに相談する等、そのままにしない。 記録が多いので、効率よく子どもの様子を記録できるツールができるといい。 記録をし、課題などを検討しできる支援をみんなで共有しています。 細かい項目に分かれて記録している。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	41	6	よくわからない 定期的にモニタリングを行い、児に合った支援について考えていく。 期日など細かくは決めてはいないが保護者に対しては、実際やってみてどうだったか？などは定期的に声かけを行なっている。 わかりません 面談でされている 正直できているとは言い難いです。反省です。 子供についてスタッフ間で気付きや支援の方向性などよく話し合えていると思うが、とても支援が必要な子どもと、そうでない子で差が生じてしまう気がする。 必要があれば、定期以外でも行っている。 特にありません 具体的にはわかりません。 おひさま以外でも必要 おひさまの際の内容の確認と見直しも必要 分かりませんがおそらくそのようななっていると思います。 活動を通して出た課題に対しての対策など継続するのか方法を変えるのかなどは話しあえていると思います 記録を書く際に、気になった様子やできるようになったことを話すことで計画の見直しに繋がっている。
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	41	2	よくわからない 職員間でその児の情報共有を行う。 その時の担当者などが話し合いに参加している。また基本的には複数で参加するなどしている。 ケースの担当者が参加している 特にありません ケース担当+児発管が関わっている。 担当者が参加していると思う。 分かりませんがおそらくそのようななっていると思う グループ付きの職員が参加する場合は、抜けても大丈夫なよう、応援の職員が配置されている。
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	45	2	よくわからない 児の情報を共有して、密に連携をとっていく。 保健師等と連絡を取り合いながら行なっている。 相談支援事業所の方との連携を意識することがこの一年でとても増えました。 特にありません 必要に応じ情報共有できている。 保健師さんへの連絡や必要な子へ医療の紹介などをしてれています。 家庭状況等を含め、連携を図っている。 ケースによっては保健師さんとも連絡を取り合っている。 関係機関からの来園や電話があることがある。また、その情報をグループや必要があれば園全体で共有している。

関係機関や保護者との連携	23	<p>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)</p> <p>地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか</p>	34	6	<p>よく電話をしていることを見かける。</p> <p>学園での生活に関係機関に伝え、情報共有していく。</p> <p>保護者からの情報で動いていることが多い。医療の初診時には、グループでの様子を情報提供は行っている。しかし実際に医療機関と会議を設けて方向性を出していくところまでは行っていない。</p> <p>医療との連携はなかなかしづらいことがある</p> <p>分かりません。</p> <p>医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子を担当していないため分からない</p> <p>該当児なし</p> <p>特にありません</p> <p>対象外</p> <p>今後の方向性を考えると医ケア児の受け入れも検討</p> <p>医療的ケア児、重症心身障がい児はいない。</p> <p>保育園や幼稚園を利用している子も増えてきているので必要に応じて利用園との連絡をしてもらっています。</p>
	24	<p>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)</p> <p>子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか</p>	29	8	<p>密に連携を図っていく。</p> <p>23番と同じ意見。</p> <p>わかりません</p> <p>医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子を担当していないため分からない</p> <p>該当児なし</p> <p>緊急時の対応へのマニュアルがある。</p> <p>特にありません</p> <p>学園として行なっていると思うが、自分自身わからないことが多い。</p> <p>対象外</p> <p>医療的ケアが必要な園児いない。</p> <p>医療的ケア児、重症心身障がい児はいない。</p> <p>紹介をすることはありますが、職員が医師と直接連携をとることはあまりないです。保護者との話しで医療での解決が望ましい場合には医師にも相談する事を勧めたりはします</p> <p>かかりつけ医がある場合は健康カード等に記載されている。</p>
	25	<p>移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか</p>	47	2	<p>よく電話をしていることを見かける。</p> <p>学園での生活を伝え、情報共有をしていく。</p> <p>親子グループは、就園予定の園への情報提供まではしていない。希望があれば行う考えではいる。保健師、在園先には情報共有を行うことはある。お互いの意見のすり合わせも行なっている。</p> <p>わかりません</p> <p>保育所訪問支援のスタッフから有益な情報をいただいております。</p> <p>特にありません</p> <p>保育所等訪問の他、電話でのやりとりを必要に応じて行っている。</p> <p>併行通園先の園と情報共有を行なっている</p> <p>密に連絡を取っていると思う。</p> <p>保育所等訪問支援を行う。</p> <p>必要に応じてやってくれています</p> <p>幼稚園との話し合い等も行い、連携を図りながら支援を考えている。</p> <p>電話・郵送・来園等、必要に応じた対応をしている。</p>
	26	<p>移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか</p>	45	3	<p>よく電話をしていることを見かける。</p> <p>かけはしシートで引き継ぎを行っています。</p> <p>学園での生活を伝え、情報共有していく。</p> <p>親子グループでは、行なっていないが毎日通園の方では連携をとっている。</p> <p>わかりません</p> <p>新任で年中児を担当している為分からない</p> <p>かけはしシートの作成に力を入れています。</p> <p>1、2歳児の担当のためなし</p> <p>特にありません</p> <p>保育所等訪問や、かけはしシートにて行っている。</p> <p>かけはしサポート</p> <p>かけはしシートなどで情報共有している</p> <p>書類、顔合わせ、口頭での引き継ぎ、パトタッチ連絡会を行う</p> <p>かけはしシートや引き継ぎ書を作成している。</p> <p>入学前は学校の先生に来園してもらい、入学後は職員が来校し、様子を見たり情報を共有している。</p>

27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	38	9	<p>よくわからない 研修を受けて、日々の療育につなげていく。 行えていない。 特にありません 他の施設に見学に行きたいと感じる。 もっと連携は必要 他事業所を使っている子どもが増えて来ているため、お互いの支援・保護者のことも含めについて話し合う場が必要 専門機関との関わりは多いと感じる できてないです 他の事業所と合同研修を実施した。今後もっと回数が増え、意見交換の場をもっと設けられるとよい。 来園されたり、来園しに行く旨が朝終礼簿に記載され、周知されている。</p>
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	50	3	<p>三方原幼稚園との交流など。 交流を増やして経験を積んでいく。 親子グループ内では行えていない。 わかりません 所属グループの子達にも、上記のような機会があるといいと思いました。 特にありません 三方原幼稚園との交流があるが、インクルーシブを広めるならばもっと参加者を増やす等、盛んに行っても良い事業だと思う。 こども園からの訪問、幼稚園との交流の機会があるが、園児全員が関わってはいない。 いろんな人と交流の機会があると楽しいとおもう 三方原保育園交流など 交流保育を3か月に1回程度行う。ただし有志者のみ。 コロナの影響はまだあるが、地域との交流場面が増えた。 近隣の幼稚園と交流する機会がある。 聖隷こども園わかばや三方原幼稚園との交流が年に数回ある。</p>
29	(自立支援)協議会 子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	29	14	<p>参加できませんでした。 機会がある時は、積極的に参加していく。 工夫はあまりできていない。 わかりません 特にありません 具体的なことは分かりません できてないです わからないが、朝終礼簿で「〇〇会議に参加する」との記載を目にする事がある。</p>
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	51	1	<p>保護者と話し合っている姿を見かける。 毎日の生活記録の活用や送迎時などにお話するなどして子どもの様子や発達を共有しています。 送迎バス利用のため、送迎時に保護者とのやり取りができないことがデメリットになっている。 生活記録等で伝えている。 家庭の様子、保護者の考えなど踏まえながら話をしている。 わかりません 生活記録や送迎時、電話の際に学園での様子や成長点を具体的に伝えている 今年は特に電話での相談や報告をこまめに行うようになりました。上司の指導のおかげだと思います。 なるべく多くの保護者と会話の機会を持つようにしています 毎日、記録をやり取りしている。 連絡帳で伝えきれない事や、直接話しておいた方が良いことは、電話やお迎えの時に直接保護者に伝えるようにしている 気になることがあったらすぐに保護者に電話をしている。 送迎時やおたよりバックでの連絡が丁寧でいいと思う おたより帳の活用や電話で行う。 面談だけでなく、電話や生活記録等で日々の様子を共有している。 親御さんと電話や直接あった際に、コミュニケーションを図ることを意図的につくっています。 子どもの様子を保護者と共有する事は意識するようにしています 毎日送迎の際に話すようにしている。</p>

31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	45	3	<p>よくわからない 家庭での困りごとなどを聞いていく。 ペアプロを実際に行っている。意識的に保護者への労い、傾聴を意識している。 特にありません 入園前または入園後すぐに行っているが、その後のフォローアップもできるとよい。</p> <p>よくわからない そのような機会を作っていると思う ペアレントプログラムの実施 ペアレントプログラムを行っています。保護者の反応も良いです 母(父)が専念できるよう、兄弟児への配慮も行なっている。</p>
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	48	4	<p>よくわからない 適切な言葉遣いを心がける。 働いている保護者も多い為、どのような形であれば負担にならずに利用し続けられるか考え提案などしている。 特にありません 運営規定は伝えていないが必要性はあるのか？ 詳しくは分かりません なるべく分かりやすい書類になるよう意識しています。 入園前に説明会を設け、職員も複数名配置することで、質問があった際にその場で聞ける環境を整えている。</p>
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	44	6	<p>わかりやすく説明していく。 細かな配慮までは行っていない。 わかりません 特にありません 面談で内容を確認した後、支援計画書を作成配布し、署名捺印してもらっている。</p>
34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	48	2	<p>よくわからない 答えが難しい時は、上司に相談する。 活動時、利用者皆に話しかけられるような体制、意識づくりをしている。同じ場所に何人もの職員がかたまらないようにし、時には声をかけ合いながら保護者に声を掛けることをしている。 面談だけでなく生活記録に悩み等が書かれていた場合、バス保育の時や電話などで保護者と話す時間を作っている 日々の記録で寄せられた相談には、電話で丁寧に対応するよう心がけています。 保護者参加の行事の時なども利用している。 特にありません 年3回の面談の他、必要に応じて「面談をしませんか？いつでも大丈夫ですよ」と全体に伝えている。 保護者とのやり取りはとて丁寧だと感じる 振り返りシートを使い、話すだけでなく記入をできるようにし返信をするようにしています。必要に応じて話をさせてもらったりもします 年2回の面談以外にも、必要に応じて面談を行なっている。</p>

保護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	50	3	<p>負担感を軽減する事が必要            今年は負担大きいと感じる親御さん多かった。業務の改善ができるといい。            お話を定期的に開催する。            保護者同士が育児や同じ悩みをシェアできる時間と空間を意識している。職員の意見ばかりを押し付けるのではなく、同じような話が聞こえてきた時には保護者同士を繋げる役になれるようにしている。            旧)母親教室など保護者同士の交流、職員と話す場ができてよいと思う            わからない            10月の保護者会主催のイベントに、参加させていただきました。            参加しやすいよう、内容を事前に伝えている。            特にありません            他の保護者との交流機会の増加も保護者から上がり、保護者のお話を増やしてみたり工夫しています。            機会はあるが、参加者の偏りがある。            担当職員を設け定期的に行われている。また今年度より名称を変更し保護者なら誰でも気軽に参加できるよう改善された。</p>
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	53		<p>都度、面談を行っています。            わからない時は上司に相談する。            その日のうちに改善できるものは対応していくが、現状難しい時にはそこも伝えていく。その後職員間で話し合い、改善できることはないかを意見を出し合っている。            わからない            特にありません            活動内での話が難しい場合には面談日に改めて時間を作るなどをしてきています。            申し入れを受けた職員が対応できない場合も、対応できる職員に繋ぐなど最善を尽くしている。</p>
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	46	5	<p>学園だよりやグループだよりで子どもたちの様子をお伝えしています。また、活動内容によっては事前にお知らせする必要がある内容を臨時に発行しています。            わかりやすいように保護者に伝えていく。            会報は作っていないが、母子分離時の子ども達の様子を写真におさめて次の回に掲示をして実際の様子など携わった職員が保護者に話をしている。            分からない            グループだよりを発行するところまで、手が回っていないのが現状です。            絵や写真を入れ、分かりやすくしている。            特にありません            学園だよりを毎月発行している。            学園だよりで丁寧にお伝えしていると感じる            グループだより、学園だより。            毎月発行の園だよりで周知している。            園内にも掲示されている。</p>
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	54		<p>個人情報に記載されている資料を外へ持ち出さない。            メモなど持ち帰らないようにすること、付箋もテープで固定するなどして情報漏洩がないように意識している。            わかりません            必要のない個人情報の乗った書類は即時にシュレッダーで処分している            専用のクリアファイルを使用している            個人情報の色付きファイルがとて有難いです。            持ち出しをしない、外、家庭で話さない            定期的に事例をあげての話がある。            個人が特定されてしまうようなものは、学園の外には出さないよう徹底している。            月2回の個人情報保護研修を行い、職員の意識付けをしている。            朝礼で研修の機会があった            意識の高め合い。声かけ、二重チェック。            ダブルチェックをしたり、声を出して確認している。            気をつけています            ダブルチェックを行なっている。            職員間で声を掛け合うことが増えた。</p>

39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	50	1	<p>必要に応じて電話や直接お話しする機会を大切にしています。そこでお話しした内容を記録に残しグループ職員にも伝える事で共通した支援ができるよう努めています。</p> <p>ジェスチャーや絵カードを使用する。</p> <p>言葉選びを意識して話している。こちらの考え、見立てが一面的にならないよう保護者の意見もその都度確認している。</p> <p>親御さん個々に合わせてやりとりしている 本人に合わせた形にまだ変えられる部分があると感じる。</p> <p>わからない 特にありません 職員間でも共有したり伝え方に気をつけている 個別対応や、職員間での情報共有がされている。</p>
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	43	6	<p>よくわからない</p> <p>餅つきの時には、地域の婦人会の方々が来て下さいました。</p> <p>地域との連携を図っていく。</p> <p>園行事の際には交流がある。</p> <p>一日園長、餅つきを実施し、それらの運営責任者を担当しました。</p> <p>特にありません</p> <p>コロナ前のように、例えば運動会は近所のお年寄りを招待し、交流したい。</p> <p>まだまだ少ない お餅つきは復活しましたが、公開療育など知ってもらうための企画を考える必要あり まだまだ閉鎖的だと感じる。</p> <p>チラシなどを配ったり、参加を呼びかけたりします</p> <p>毎年、婦人部の方を招いて一日園長を務めていただいたり、おもちつきのサポートをしていただいている。</p>
41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	47	7	<p>訓練としては行われていない</p> <p>マニュアルをしっかり読み理解する。</p> <p>親子グループは実際には参加はできていない。</p> <p>全職員を対象に周知を図るのか、担当職員の中で周知するのかの判断をして、その結果によれば良いと思います。</p> <p>わからない</p> <p>総合防災訓練にて、緊急時対応訓練を実施しています。</p> <p>特にありません</p> <p>緊急時はもっと細かい想定をしたい</p> <p>実施している</p> <p>訓練などは出来てません</p> <p>マニュアルはいつでも確認できるよう、各部屋に置かれている。</p>
42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	51	3	<p>総合避難訓練時に必要な訓練を行なっています。</p> <p>避難訓練を定期的に行う。</p> <p>昨年度から室内活動では保護者一人一人に防災頭巾を渡している。</p> <p>訓練時の現れを予想し事前に職員同士で対応を相談している</p> <p>防火管理者の資格を取得して、訓練の計画、実施に携わっております。</p> <p>子供の様子に応じて柔軟な対応ができるよう、事前に細かい打ち合わせをしている</p> <p>わかりません</p> <p>訓練などはできていません。活動時間が短い事と曜日でメンバーが代わるのでみんな平等に訓練となると方法や時間の確保などの課題はあります</p> <p>様々な場面を想定しての避難訓練の実施をしている。</p> <p>想定を固定せず、いろいろなシチュエーションで訓練を行なっている。</p>
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	49	4	<p>自分のグループのケースは把握しているが担当以外の子どもの状況は再度、確認の必要があります。</p> <p>事故がないように情報共有をしていく。</p> <p>保護者との確認は行なっているが、マニュアルまでは作成していない。</p> <p>個人面談時に確認し、それでも不安があればその都度保護者に確認しています。</p> <p>年度始め、面談で確認している。</p> <p>連絡帳等で伝えられたことは職員全体で共有出来るようにしているが 急に入った職員には伝わりきっていないと思います</p> <p>健康カード、引き継ぎにて聞く。</p> <p>大きなものは相談の時点で聞いてもらっていますが、予防接種などの確認まではしてないです グループ内のみではなく全体で周知されている。</p>

非常時等の対応	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	51	2	<p>アレルギー児は朝礼で食数を確認する際に除去するメニューを確認している。</p> <p>朝の打ち合わせ時にアレルギー児の確認、お弁当を提供する者を決めるなどを行なっている。</p> <p>必ず、現物を保護者に見てもらい確認しています</p> <p>朝礼で全体確認している。</p> <p>特にありません</p> <p>わかりません</p> <p>各クラスにアレルギー児の表、対応が提示されている。</p> <p>年度が変わる前に、親御さんに依頼し、医療と連携し、お子さんがより安心して食事等ができるように整えています。</p> <p>保護者への確認をしています</p> <p>医師の指示書をもとにマニュアルが作成され、全体に周知されている。</p>
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	37	12	<p>よくわからない</p> <p>終礼でヒヤリハットを伝える。</p> <p>実際にはあるのかもしれないが、自分は把握できていない。</p> <p>今後作成が必要</p> <p>手が回っておりません。反省です。</p> <p>特にありません</p> <p>終礼で周知した内容を月ごと一覧に残しているが、事例集とはしていないのではないかと</p> <p>事例集はないが共有はしている。</p> <p>グループの振り返り、終礼で周知している。</p> <p>スタッフ内では共有しています</p> <p>年度末にまとめられ保管されている。職員スペースで掲示されるとより意識できるように思う。</p>
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	50	3	<p>児の特性に合わせ、声かけなどの働きかけを変えていく。</p> <p>研修は行っていないが、手繋ぎでは手首を握らないやつよく引っ張らない、否定するような言葉を使わないということはお互いに意識している。</p> <p>子どもへの虐待防止意識は高まっていると思いますが、職員間のハラスメントに対する意識付けやそれを学ぶための研修も、もっと行った方が良いと思います。</p> <p>特にありません</p> <p>よくわからない</p> <p>研修が設けられている</p> <p>定期的に虐待研修をしている。</p> <p>研修はできてないです</p> <p>全員参加できるよう日を分けて実施された。</p>
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	22	18	<p>よくわからない</p> <p>身体拘束を行う事例を見たことがない。</p> <p>親子グループではそこまでの取り組みは行っていない。</p> <p>身体拘束はないと思う</p> <p>了解は得ていますが、支援計画に記載しているかどうかと言われると??です。</p> <p>知りません</p> <p>特にありません</p> <p>今年度は保護者に了解を得る身体拘束は行っていない。</p> <p>身体拘束は今年度はないが研修は必要</p> <p>わからない、見たことがないという意味でいいえにつけさせていただきました。</p> <p>出来るだけ拘束にならないよう職員間で意見が交換されるが、必要性が発生した場合は親御さんに了承を得てから実施されている。</p>